

新自然史科学創生センター

学内4センター合同シンポジウム  
「京都府立大学で学べること」を開催

新自然史科学創生センター長  
佐藤雅彦先生



令和6年12月24日、京都府立歴史館小ホールで学内4センター(新自然史科学創生センター、京都地域未来創造センター、国際センター、京都和食文化研究センター)合同の第2回京都府立大学4センター合同シンポジウム「京都府立大学で学べること」を開催しました。

今回はスタンフォード大学准教授 井上美弥子先生をご招待して「アメリカで学べるキャンパスライフと研究者キャリア形成」のタイトルで基調講演をしていただきました。ご講演では、日本からアメリカへ留学して学ぶことの意義、スタンフォード大学のキャンパスライフと女性研究者としてのキャリア形成についてお話いただきました。第2部では、「府大で学べること」と題して、本学の現役大学院生・学生に府立大での研究や学びについて、学生自身のリアルな体験を伝えていただきました。

京都地域未来創造センター

大学の地域貢献活動  
周知のために新たな活動

京都地域未来創造センター長  
岩崎雅史先生



この1年、京都地域未来創造センターは、地域貢献型研究(ACTR)をはじめとする大学の地域貢献活動を多くの方々にご覧いただくために、新たな取り組みを行いました。

昨年9月には、第1回となる地域交流フォーラムを開催、市町村職員や府民の方々にACTRの研究結果に触れただけでなく機会を設けました。また、9月から12月の3か月間は、京都府議会棟でACTRパネル展示とそれらの関連動画の放映を実施しました。さらに、今年の7月には京丹後市の海水浴場でイベントを開催するなど、「海の京都」の観光資源の活用についても模索しました。

今後も大学の知と地域の持続的な発展をつなぐためにさまざまな活動を展開する予定ですので、応援いただけますと幸いです。

受験人気を着実に回復  
大学改組が奏功の兆し

入試部長・企画戦略部長  
生命研究科学研究科長  
古田裕三先生



京都府立大学では、2024年度(令和6年度)と2025年度(令和7年度)にかけて志願・受験者数が増加しました。これは、大学の組織再編や教育改革が着実に成果を上げている証といえます。

2024年度は、一般選抜全体で志願者数は2,030名、受験者数は1,664名、合格者数は511名となり、実質倍率は約3.3倍だったのに対し、2025年度は、志願者数2,383名、受験者数1,940名、合格者数508名。実質倍率は約3.8倍と、受験者数、倍率共に大幅に増加・上昇しました(受験者数は約16.6%増加)。志願者が増え、競争の中で合格を勝ち取る傾向は、大学の魅力度向上の象徴といえるでしょう。

本学は2023年に学部学科、特に理系の学部学科を再構成し、これまでの3学部体制から、「文学部」・「公共政策学部」・「農学食科学部」・「生命理工情報学部」・「環境科学部」の5学部体制へ変更しました。この改組により、教育・研究体制の強化や学部ごとの特色が明確になり、志望者の関心を引きやすくなったものと考えられます。

SH指定京都府立高2校(洛北高校、嵯峨野高校)と  
本学が高大連携協定締結を結びました!

府大は令和7年4月1日付で京都府立洛北高等学校と京都府立嵯峨野高等学校との間で高大連携協定を締結しました。両校とは旧農学部所属の3学科を中心に、これまでからさまざまな高大連携事業を行ってきており、今回の協定で本学とSSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定の両高校が組織的に連携することにより、探究学習での支援や指導などを通して相互交流を深め、府大の教育活動をさらに充実・発展させることを目的としています。

連携の内容は、(1)教育内容及び教育方法等に関する情報交換、(2)大学教員及び学生による高校の支援、(3)大学教員による高校での出張講義や模擬授業の実施、(4)高校生の大学の授業や研究活動への体験参加と大学の施設利用、(5)学生と生徒の交流活動の推進など多岐にわたり、今後のさらなる連携に期待が寄せられています。(文責:企画戦略部長・古田 裕三)

ダチョウ剪定の樹木の謎判明!



27号で報じた大会館東側のダチョウの姿に剪定された樹木。“下手人”が判明しました。構内整備のスタッフの方が剪定の際にちょっとしたシャレ心で。ちなみには「ひよこの後ろ姿」?



入学式にコスプレ復活!  
院生らしい  
アカデミックな装束

かつて入学式や卒業式では奇抜なコスプレ姿の学生が“出現”してマスコミの話題になることがよくありました。ジョークも知性…心の遊びです。それが今年の入学式で復活! 入学記念集合写真に室町時代の装束で登場した大学院文学研究科の藤村昂輝さんです。自身の専攻分野である室町時代の正式な礼服を6万円かけて本格復元したものの。院生となるとコスプレにもインテリジェンスが光ります。

「世界のトップ2%の科学者」に  
生命環境科学研究科の教員がランクインしました!

米国スタンフォード大学(Stanford University)とエルゼビア社(Elsevier)が2024年9月17日に更新・発表した世界のトップ2%の科学者を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース(更新版)」に、以下の生命環境科学研究科の教員3名がランクインしました。

このランキングは、22の研究分野と174のサブ分野で少なくとも5編の論文を発表している科学者を対象に、Scopus引用データベースに基づき総被引用回数などの複合的指標により評価され、上位2%が選出されています。

「single recent year(単年)」と「career-long(生涯)」の2つの区分があり、【Single recent year(単年)の区分】で亀井康富教授(分子栄養学研究室)が、【Career-long(生涯)の区分】で半田裕一教授(植物育種学研究室)と沼田宗典教授(超分子合成化学研究室)がランクイン。本学は研究レベルでも世界的に高い評価を受けております。(文責:生命環境科学研究科長・古田 裕三)



亀井康富教授



半田裕一教授



沼田宗典教授

府大でも鹿との遭遇”

最近全国で鹿などの野生生物が都市部に出てくるのがニュースになっていますが、府大でも野生の鹿が出没中! 山から賀茂川沿いに出てきたのでだと思われま。シカと確か?



過去のコスプレベスト3  
~『Sa·Ku·Ra』既刊号から~



▲おとぎ話の登場人物。こちらはチームプレーなのがすごい。(2002年卒業式/5号)



新聞紙で自作したきもの&帽子(2002年卒業式/5号)



▶せっかくの記念写真なのに顔が見えない(;。;)…本末転倒具合に拍手です。(2003年卒業式/6号)

今春は16名の教職員が離任されました

令和6年度末に定年などで退職される教職員の離任式が年度末の3月31日に1号館の前で開かれました。今年は昨年よりさらに2名多い16名の方が退職されました。



3/31に離任された方々(敬称略)

■ 教員 定年退職 10名

- 小松 謙(文学部日本・中国文学科教授)
- ラリー ウォーカー(文学部国際文化交流学科教授)
- 渡邊 伸(文学部歴史学科教授)
- 菱田哲郎(文学部歴史学科教授)
- 桂 明宏(公共政策学部公共政策学科教授)
- 南山幸子(生命環境科学研究科応用生命科学専攻教授)
- 田伏正佳(生命環境科学研究科環境科学専攻教授)
- 隅田明洋(生命環境科学研究科環境科学専攻教授)
- 檜谷美恵子(生命環境科学研究科環境科学専攻教授)
- 河西立雄(生命環境科学研究科環境科学専攻教授)

■ 教員 普通退職 3名

- 河野尚子(公共政策学部公共政策学科准教授)
- 武田征士(生命環境科学研究科応用生命科学専攻准教授)
- 谷口祐一(生命環境科学研究科応用生命科学専攻講師)

■ 職員 定年退職 3名

- 能勢重人(事務局長)
- 大槻哲也(学務課教育研究支援係事務指導員)
- 榎井陽司(学務課学生支援係専門幹)